

2024年2月14日

# 労働者協同組合ワーカーズコープながの 信州協同労働推進ネットワーク 実践事例

労働者協同組合

ワーカーズコープながの

専務理事 田中琢磨



地域づくりを  
仕事にしませんか



# 自己紹介（田中琢磨）

兵庫県神戸市須磨出身。桃山学院大学在学中、阪神淡路大震災を経験し、被災地でのボランティア活動（物資運搬、仕分け、仮設住宅での「ふれあい活動」等）を通じて、**人と人が助け合うことの大切さ、素晴らしさを教えて頂き、人と地域に役立つ仕事に携わりたい**と思い、1997年～ワーカーズコープ連合会センター事業団に入団し、神奈川県湘南エリアを中心に、ビルメンテナンス、緑化、介護保険事業の仕事起こしに取り組む。

2006年～平塚市地域包括支援センター社会福祉士（ソーシャルワーカー）として地域福祉に取り組み、2008年～東証一部上場企業にて介護付有料老人ホーム施設長を経て、社会的企業を目指し、介護施設運営の会社を設立。取締役介護事業部長として施設運営、M&Aによる施設再生などに取り組む。2016年～社会福祉法人 常務理事 法人本部長として災害移転による特養新設、法人の経営改善、業務改善、介護職員の定着化に取り組む。2021年4月～ワーカーズコープ連合会事務局として17年ぶりに復帰し、同年7月～企業組合「労協ながの」に事務局長として出向し、2023年4月からは「労働者協同組合ワーカーズコープながの」専務理事として現在に至る。

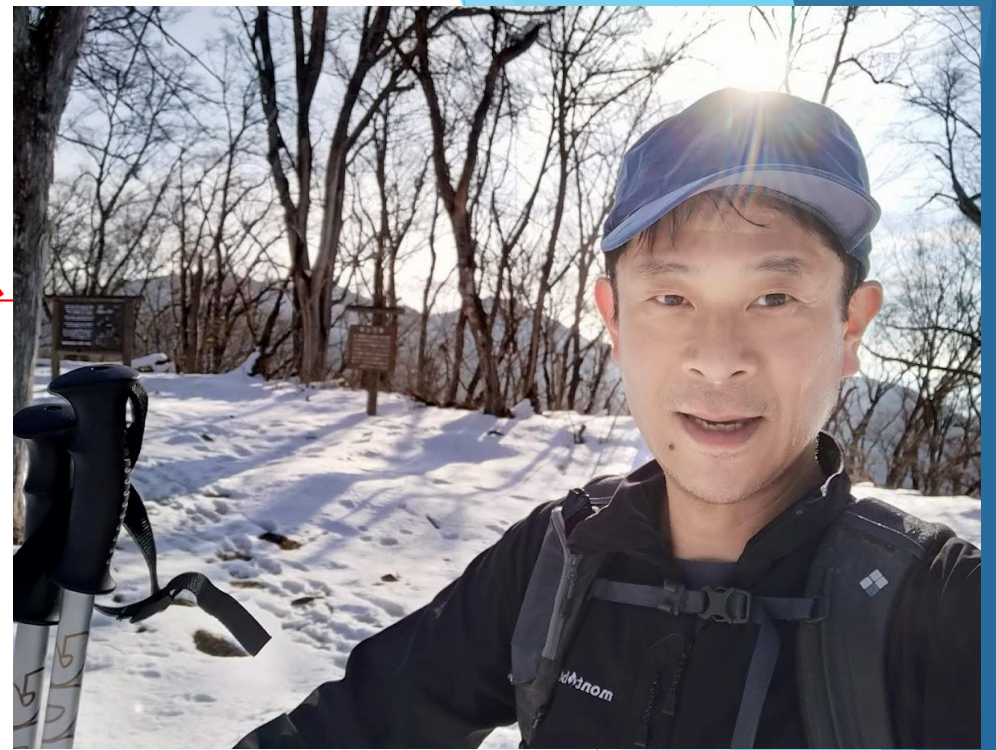
趣味：登山（5年前から累計424座踏破）・歩くこと・読書（歴史好き）・音楽鑑賞（クラシック、Jazz、ロック、ヒビメタル、ピアノなど）

好きなもの：ビール・地酒・旬の食べ物・肉・寿司・カレー

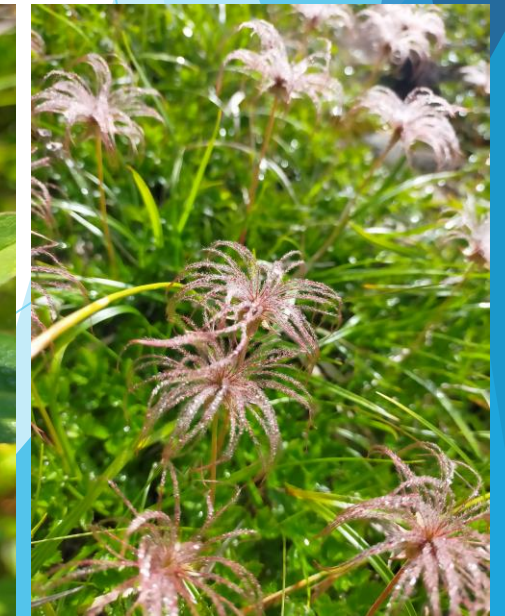
好きな言葉：**「切磋琢磨」「笑う門には福来る」**

**「おもしろきこともなき世をおもしろく」** 高杉晋作

尊敬する人：坂本竜馬、寅さん、田中陽希さん



長野県庁裏の旭山山頂にて



# ワーカーズコープながの概要

総本部及び東北信事業本部（長野市）・中信事業本部（松本市）・南信事業本部（箕輪町）の3事業本部制 就労者数：433 組合員数：341名 出資金：約9900万  
事業高：8億1千万円 設立：1980年8月 創業43年 現場数：約60箇所

## ○厚生労働省ホームページ好事例に詳細を掲載

[https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/good\\_cases/koujirei16](https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/good_cases/koujirei16)

## ○鈴木理事長挨拶

▶ 労働者協同組合ワーカーズコープながのは、1980年失業対策事業の終息に伴い、就労機会に恵まれない中高年の就労機会の創出と働くことを通じての平和で暮らしやすい地域づくりを目的に創立いたしました。1986年には企業組合労協ながのとして法人格を取得し、長野県内の協同組合関係を中心とした病院内の清掃・売店・レストランなどの受託事業をはじめとして、福祉事業や生きづらさを抱えている方たちへの就労支援や子育て支援へと拡がり、県内3か所に事業本部を置いています。そして、労働者協同組合法の成立により2023年4月に労働者協同組合に法人移行いたしました。

▶ 私たちは働く者自らが出資し、就労し、話し合いを大切にする「協同労働」という新しい働き方を広くお知らせすること、実践を通して働く喜びを感じ仲間を大切にする事、地域と人々の困りごとの解決としての仕事おこしをすることなど、これからも幸せな地域づくりへ向けて地域の皆様とともに歩んでいきたいと思ひます。



# ビルメンテナンス事業



- ・ 県内医療生協（民医連）に加盟する病院清掃やその他介護施設等の清掃管理業務等担う。
- ・ ビルメンで約4億の事業高。
- ・ 国家資格であるビルクリーニング技能士8名を養成し、よい仕事を追求。積極的に、生きづらさを抱えた若者や障害を持った方々の社会的就労の場を作っている。
- ・ 駐車場管理、患者送迎、食器洗浄等の業務も受注。

# 売店運営・食事業



レストラン虹 (1か所)

売店運営 (6か所)

患者さんのオアシス

あじさい弁当 (1か所)

# ながの若者サポートステーション

厚生労働省委託（子ども・若者育成支援推進法）

様々な問題や悩み、困難などを抱えた若者を支援しています。

- ①総合相談 ②カウンセリング ③各種講座
- ④職場見学&体験 ⑤キャリアコンサルティング

⇒「ワーカーズコープながの」のビルメン現場での体験  
及び就職多数

2021年度実績

相談件数：2,652件

利用者数：492ケース

⑥サポートネット

（15～39歳の方々の居場所）

利用者：130名

利用回数：233回

長野市  
ながの  
若者サポート  
ステーション



# 児童館・児童センター・児童プラザ（6館）運営

長野市豊野東、西、松本市和田、新村（指定管理者制度）

目的：児童福祉法の規定に基づき、児童の人権に配慮し、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすること。

2021年度延べ利用人数

長野市4館： 37,773人/年

松本市和田： 11,244人/年

松本市新村： 7,551人/年



# 和ヶーション

障害のある方が、一般企業に就職することに対して不安があったり、就職することが困難な場合に、雇用契約を結ばずに生産活動などの就労訓練を行ってます。



就労継続  
支援B型  
事業所

木曽郡  
木曽町

がんばるぞ〜っ!!



# グループホーム風舎

- ・ 障害者グループホーム（共同生活援助）（障害者総合支援法）  
障害のある方が必要な支援やサポートを受けながら、共同生活を行うことができる住まいです。（木曾地域）



# 介護支援センター

居宅介護支援事業所（介護保険事業）

要介護認定者に対して、自宅で自立した生活を送るために、居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成やサービス調整を行う事業所です。介護支援専門員（ケアマネジャー）が、本人や家族の心身の状況や生活環境、希望などに沿って、居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成しています。



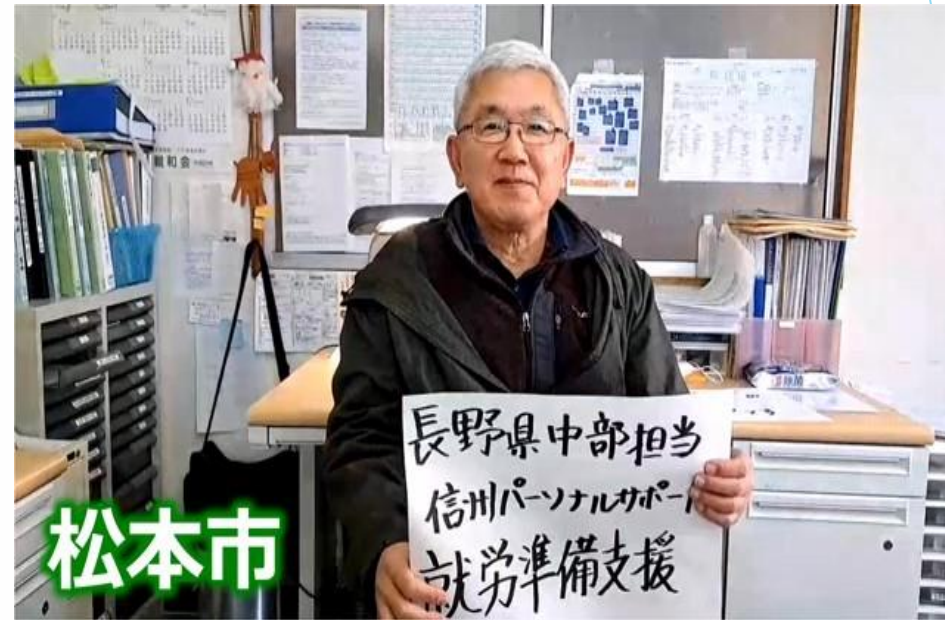
# 就労準備支援

長野県と松本市から就労準備支援（合計中西部3か所）

一般就労に向けた準備が整っていない者を対象に、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援しております。（生活困窮者自立支援制度）



飯田市



# 日帰り入浴施設管理運営

- 日帰り入浴施設の指定管理の運営(千曲市健康プラザ)



# 協同労働×村づくり①

小谷村から集落支援員の委嘱を受けて、「ワーカーズコープながの」から2名職員を派遣し、協同労働で村づくりをスタート  
2022年4月～



# 協同労働×村づくり②

小谷村 協同労働で村づくりを開始 2022年4月～



# 協同労働×農福連携

「おたりつぐら」に事務局をおき、集落支援係・農林係が小谷村内の協力農家を、「ワーカーズコープながの」が大北圏域の障害者福祉事業所などをつないで、農福連携のトライアル活動を実施。福祉事業の対象者1人1時間400円の労賃。

2022年度 開催17回(延べ144名参加)



# 社会連帯活動 1

- ・ながの中央事業所（ほやすみ農園）

2019年の台風19号災害により千曲川の決壊により水害のあった長野市穂保にて中央事業所のメンバーが畑を耕し季節の野菜の栽培を地元の方と共に実施しています。



- ・千曲市協働事業（倉科子ども食堂）

平成28年（2016年）に千曲市より業務委託を受けスタート。

現在、月2回実施。学習・調理は地元のボランティアさんらが協力。





## 社会連帯活動 2

- ・ 諏訪共立病院の仲間によるショウガドレッシングづくり。  
鳥獣被害で休耕になっている畑でショウガをつくり、  
生しょうがとドレッシングの販売を行っています。
- ・ 伊那事業所のなんでも相談会  
医療生協病院、社協、まいさぽ上伊那、箕輪町、ワーカーズ  
コープながのがタックを組んで毎月相談会と食料配布を  
行っています。



# 社会連帯活動 3

- ・ 塩尻「あじさい」の子ども食堂

店頭で弁当配布をしていたが、必要な人に届けるため社協の協力も得てひとり親家庭への弁当を配達

- ・ 木曽町の映画上映会、子ども食堂

映画上映会は3回講座で、企画の段階から地域おこし協力隊の若者たちと協力して、映画上映と労協法の学習を行った。



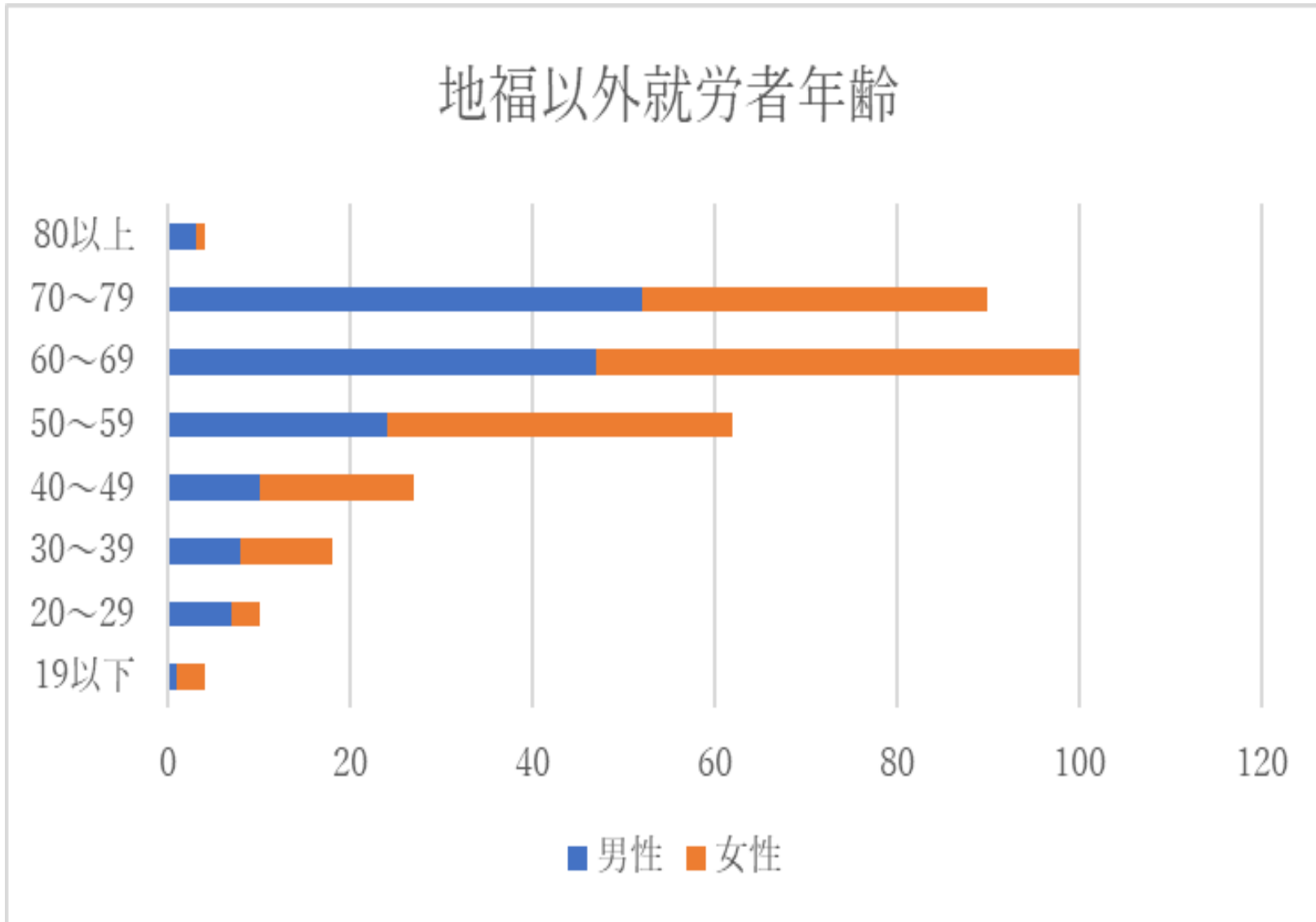
# 社会連帯活動 4

- ・ 諏訪市温泉寺の子ども食堂

今年度は休眠預金からの助成を受けて行っている。地域の活性化も視野に入れや多くの地域ボランティアとともに行っている。就労支援の仲間も参加している。多い時は200名の参加。



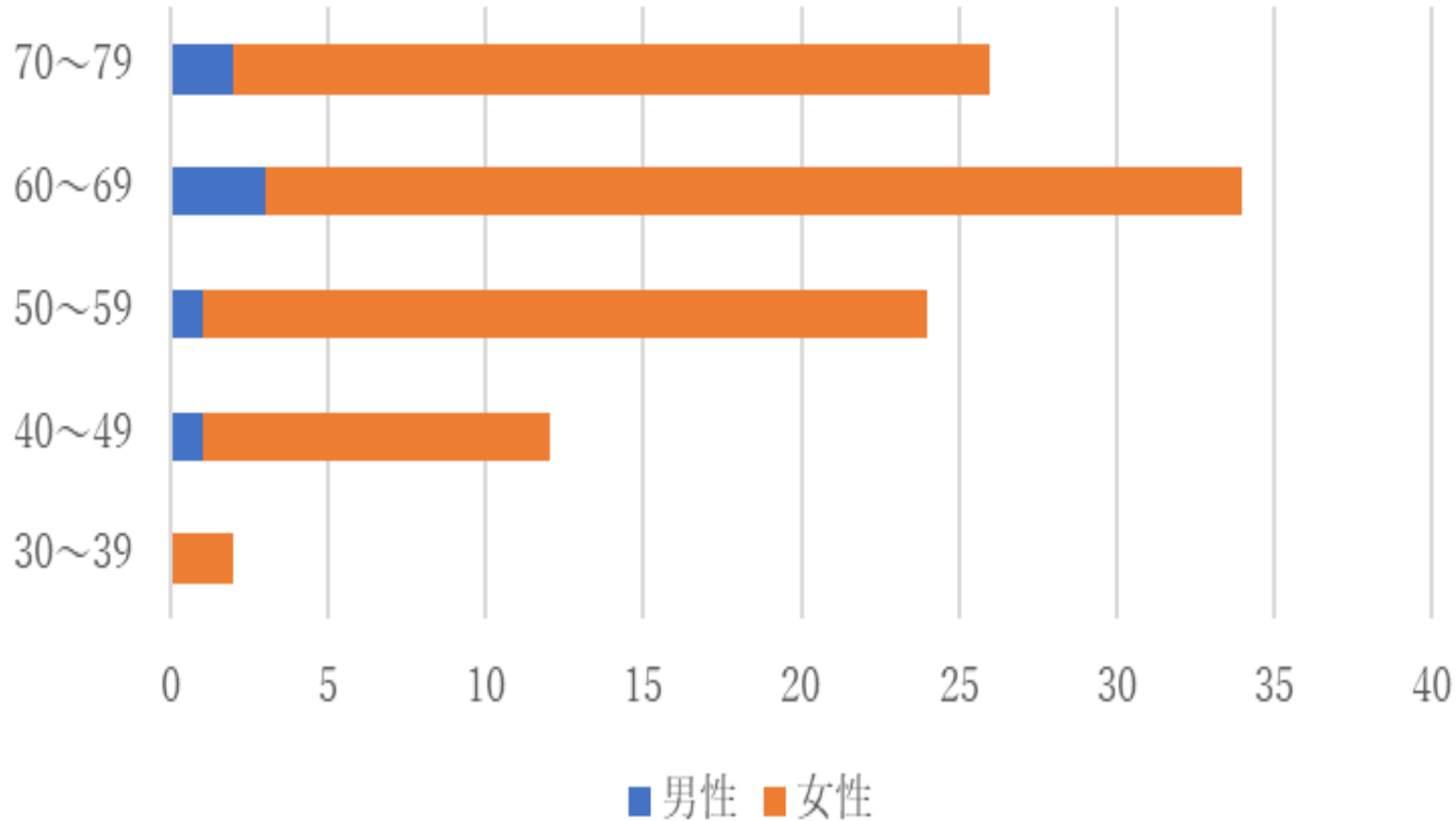
# 年齢構成及び性別（福祉事業以外の就労者状況）



総数	315	152	163
		男性	女性
19以下		1	3
20~29		7	3
30~39		8	10
40~49		10	17
50~59		24	38
60~69		47	53
70~79		52	38
80以上		3	1

# 年齢構成及び性別（福祉事業就労者状況）

地福就労者年齢



	男性	女性
30~39	0	2
40~49	1	11
50~59	1	23
60~69	3	31
70~79	2	24
総数	7	91

**「ワーカースコープながの」では女性リーダーと  
元気高齢者が活躍しています！！**  
**○役員構成 理事14名中 女性6名（42.8%）**

女性役員比率 東証プライム上場企業平均11.4% フランス45.2% イギリス40.9%

**○女性就労者数 254名/433名（58.6%）**

**○高齢者の就労者数209名/433名（48.2%）**

**内訳：女性118名 男性91名**

**最高齢82歳**

**⇒女性が活躍！！**

⇒高齢者がイキイキと働くことで「やりがい」「生きがい」を持って社会に貢献しつつ、結果的に、ご自分の健康を維持または増進することで、医療費や介護保険などの社会保障費用を抑える効果も期待できます。

# 活動に当たり大事にしていること（意見反映の方法等）

## とにかく議論、膝を付け合わせ話し合うこと

私たちは設立当初から、働くことを希望する人たちが出資し合って共に働き運営する「協同労働」という働き方を続けています。この働き方は、労働者協同組合の基本理念とも一致するものです。この働き方を実現するためには、合意と納得をするにあたり、仲間達ととことん話し合う場を設けることが大切です。

協同労働は手間暇かかるものです。

現場の仲間達は小さなことでも話し合い、備品の購入や修繕も仲間達との合意で進めています。その中で情報共有についても意識しております。皆で同じ目標に向かって進み、活動していく上では情報共有をし、意識を統一します。

病院清掃業務などの提携先とも定期的に協議の場を設けており、今以上によい仕事を進めていくうえで話し合いの場は大切です。



# 意思決定の流れ

## ○総代会（年1回）

最高決定機関 1人票（組合員のみ）各地区にて総代を選び、決算、理事、事業計画、予算を決議します。

## ○理事会（毎月1回）

総代会で選任された理事にて構成し、総代会で決議された事業計画、予算の執行、人事、日々の事業運営に関する項目や現場からの意見反映、提起について協議し、決議した案件を執行していきます。

## ○3事業本部、8事業所、各現場での話し合い

理事会での決議事項や経営状況、方針についても共有したうえで、協議し、実行していきます。また、理事会に対して、各現場からの困りごとや提案についても意見反映できるように会議を進めていきます。

## ○各種専門委員会

よい仕事、学習・共育、労働安全衛生、リスク管理、虐待防止、社会連帯ネットワークなど専門メンバーで協議した内容を組織運営に反映できるようにしています。



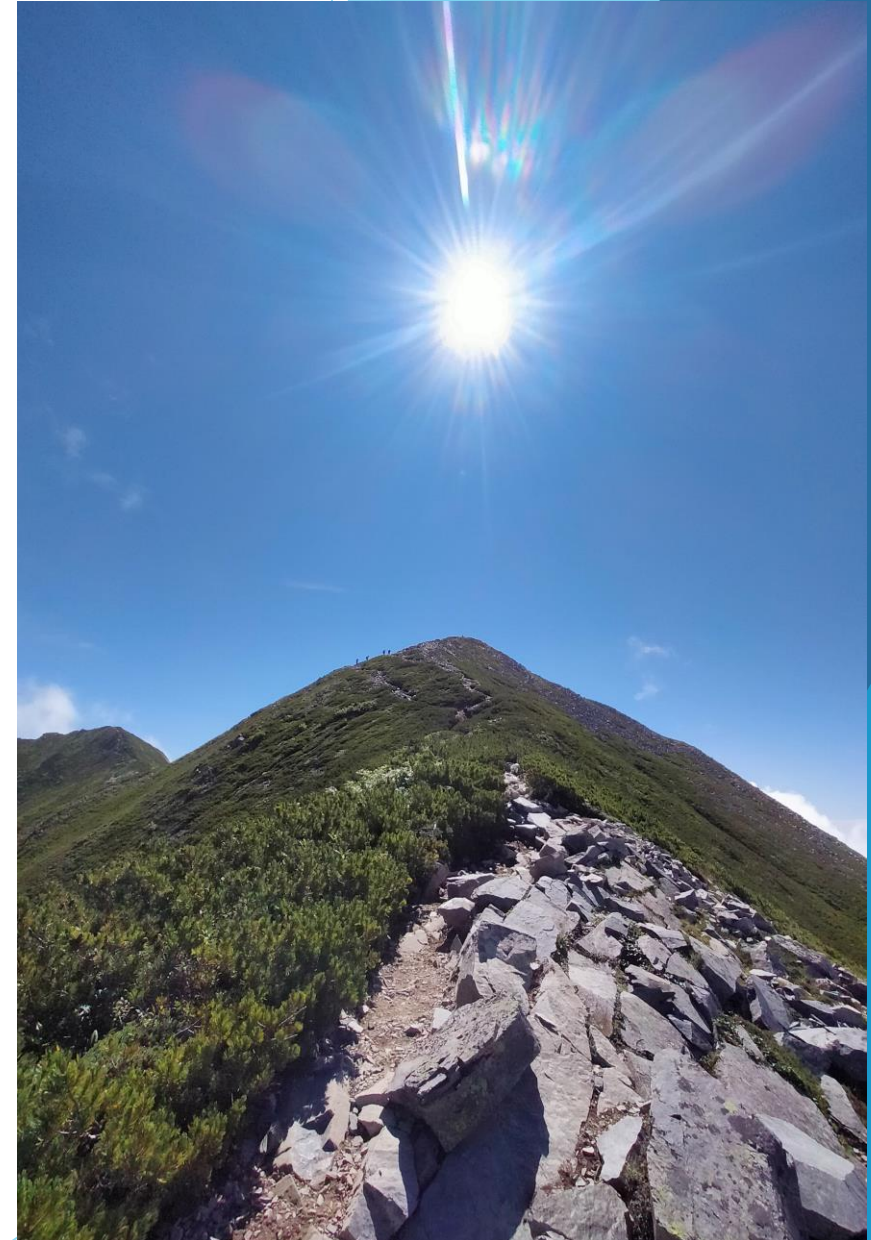
# 幸せな職場の実現に向けて「よい仕事」を追求する

私たちは、幸せな職場の実現に向けて「よい仕事」の追求を大切にしていきます。近江商人の教えに近く、「三方良し」（買い手良し×売り手良し×世間良し）を常に心がけています。そのために、チームの生産性向上を目指すことが結果として、人材定着と経営改善に繋がるよう努力しています。

ムリ・ムダ・ムラを無くすために、リーダーはルーティン業務から抜けて、未来を創る仕事と、今ある現場のマネジメント、人材育成に努めています。リーダーと組合員のワークライフバランスを実現するために、残業を減らし、ペーパーレス化を推進し、2度手間をなくすなどの事務効率化も進めています。その結果として、労働条件の改善（最低賃金からの脱却、給与条件向上）が実現できるよう挑戦しています。

そのためには、やはり、人材定着化による「よい仕事」の継承が大切です。人材定着に向けて、個別面談も推奨しています。上長が話を傾聴して、否定しないで、信頼関係を構築しながら、「よい仕事」や協同労働の働き方を伝え、本人の強みを活かした成長を促していきます。その他、ブレインストーミング（アイデアを出すのが目的。否定せずにお互いのアイデアを尊重する）を活用し、全員でアイデアを出して業務改善等を進めていく手法も取り入れています。

協同労働という働き方を通じて、自分たちで「働きやすさ」を創り出し、ワクワク楽しみながら地域に役立つ「よい仕事」を推進していきます。



A wide-angle landscape photograph showing a vast mountain range. The foreground consists of rocky, green hillsides. The middle ground is dominated by a thick, white sea of clouds that fills the valleys and extends to the horizon. Above the clouds, the sky is a clear, deep blue, with a bright sun positioned in the upper center, creating a lens flare effect. The overall scene is bright and clear, suggesting a high-altitude or early morning setting.

# 信州協同労働推進ネットワーク加盟団体の取組

# 信州協同労働推進ネットワーク加盟団体の取組状況

団体会員	代表者名
労働者協同組合ワーカーズコープながの	理事長 鈴木 友子
長野県高齢者生活協同組合	理事長 社浦 康三
長野県生活協同組合連合会	理事長 太田 栄一
日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会	理事長 古村 伸宏
NPO法人ライフワーク・レインボー	代表理事 出浦 洋子
一般社団法人 長野県労働者福祉協議会	理事長 中山 千弘
ワーカーズコープ・センター事業団 北陸信越事業本部	本部長 川原 隆哲
労働者協同組合上田	代表理事 北澤 隆雄

# ■信州協同労働推進ネットワーク

2019年7月に準備会を立ち上げ、2021年11月29日に設立総会を開催。幹事団体として労協ながの、長野県高齢者生協、ワーカーズコープ・センター事業団北陸信越&長野エリアが、労協法の学習会やフォーラムを、議員や自治体などに働きかけ、また協同労働に関心ある団体、人びとにネットワークの呼びかけを行ってきた。

NPO法人ライフワークレインボー、一般社団法人ソーシャルファームなかがわ、株式会社ふるしきや、高遠よしよし、一般社団法人ふれジョブ、企業組合労協ながの、長野県高齢者生活協同組合、ワーカーズコープ・センター事業団北陸信越&長野エリア、日本労協連から代表、佐久大学人間福祉部の下村幸仁教授ら30人が総会に参加。

ネットワークでは、2022年1月22日に協同労働フォーラム（阿部知事ビデオメッセージ）、4月にまちづくり講座を長野市で開催。2022年7月23日に諏訪で後藤厚生労働大臣（当時）を招いてフォーラムを開催。



# 長野県内にて労協法フォーラムを開催

## 労働者協同組合フォーラム 2022 in 諏訪

### 地域で活かそう 耕そう 労協法

# 7月23日(土) 13:30~16:30

無料 諏訪市総合福祉センター 湯小路いきいき元気館  
〒392-0044 長野県諏訪市小和田 19-3

●参加のお申込みは電話・FAX またはメールにて主催事務局まで●

## オンライン同時開催

(ZOOMウェビナー) ※接続は事前登録が必要です。右のQRコードから

**来賓挨拶**  
厚生労働大臣 後藤 茂之氏  
長野県知事 関 昇一郎氏  
諏訪市長 金子ゆかり氏

**基調講演**  
日本労働者協同組合 (ワーカーズコープ) 連合会 理事長 古村伸宏 氏

**実践交流・事例発表**

信州協同労働推進ネットワークで活躍する組織 × 南信州地域で活躍する地域づくり団体

- センター事務局 榎本 佳穂さん・伊藤さん・小嶋さん
- 労働者の 働く事業所 藤原一さん・北原美貴さん
- ソーシャルファームふかむつ 玉木晴香さん
- 長野県産物 伊藤市 東新近ひんめいカフェ 伊藤美穂さん
- 長野県労働者福祉協議会 専務理事 三好雅彦さん
- 上社町まちづくり協議会 内藤浩平さん
- 諏訪子ども未来プラットフォーム 木村あづささん
- 長野自立生活支援の会 あかり 小嶋テル子さん
- まちの暮らしや 古瀬克己さん

主催：信州協同労働推進ネットワーク (事務局/企業組合労協ながの) 後援：長野県  
TEL 026-219-1190 FAX 026-219-1196 info@roukyou-nagano.jp

## (長野県第一号) 法人移行記念フォーラム

### 労働者協同組合ワーカーズコープながの

# 2023年1月15日(日) 14:30~16:30

## JA長野県ビル12階B会議室

### オンライン同時開催

URL: <https://x.gd/eSYGq>

**来賓挨拶**

内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)	後藤 茂之 氏 (予定)	衆議院議員	篠原 孝 氏
産業労働部長	林 宏行 氏	長野市商工観光部長	中村 裕一 氏

**基調講演** 「働き」をかけ合わせ、  
「コミュニティ」を編み直す **協同労働**

日本労働者協同組合 (ワーカーズコープ) 連合会 理事長 古村伸宏 氏

**労協ながの 42年の歴史と**  
**長野県内の協同労働の現場からのメッセージ**

信州協同労働推進ネットワーク / 026-219-1190 (事務局)  
長野県長野市南長野新田町1482-2 / info@roukyou-nagano.jp

# 長野県における協同労働－労働者協同組合 の動向（信州協同労働推進ネットワーク）



八方池からの白馬三山

# 労働者協同組合・センター事業団北陸信越事業本部 長野エリア ア（4事業所、組合員196人、事業規模4億5千万円）



## 信州新町授産センター

障害のある人や高齢者の働く場、小規模農園



## 篠ノ井こども広場

未就学児の子ども居場所、母親支援



## 上田事業所

児童クラブ、放課後等デイ相談支援事業、こども食堂、小農他



## 松本事業所

児童館、児童センター、みんなのおうちふらっと、学習支援



# 日本労働者協同組合（ワーカーズコープ） 連合会センター事業団

（ワーカーズコープ信州）

## 上田事業所（上田市）

放課後児童クラブ運営（指定管理）  
おけまる食堂（社会連帯事業）  
ブロックス（社会連帯事業）  
桑の葉（社会連帯事業）

## GO！上田地域福祉事業所 （上田市）

放課後等デイサービス（制度事業）  
※上田事業所より独立

## 松本事業所（松本市）

児童館運営（指定管理）  
ふらっと（社会連帯事業）  
※重層的支援体制整備事業として調整中  
涙カフェ（社会連帯事業）

## 篠ノ井このゆびとまれ（長野市）

こども広場このゆびとまれ（指定管理）  
トラック市（自主事業）  
ゼロ円バザー（自主事業）

## 信州新町授産センター （長野市）

センター管理運営（指定管理）  
農福連携（自主事業）  
薪づくり・販売（社会連帯事業）

## 協力団体

労協ながの・長野高齢協・JA長野  
長野県労働金庫・生活協同組合コープ長野  
長野医療生協・長野県社会福祉協議会  
長野県森林組合連合会

よい仕事

仕事おこし

社会連帯活動

まちづくり講座

総合福祉拠点

（みんなのおうち）



# 長野県第1号！！ 労働者協同組合上田（労協うえだ）

少子高齢化社会は地域生活においても様々な支障や弊害をもたらしています。私たちは今まさに**高齢者仲間たちによる高齢者同士の助け合いが、問題解決の糸口**になるものと考えています。具体的には、庭の木を切りたい・草刈りしてほしい・ここに棚が欲しいなど業者に頼むほどではないが、チョットした手が欲しいという**身近な相談事を地域に住む身近な高齢者達が仕事仲間としてお手伝いする**仕組みです。

厚労省の人口統計でも就労を希望する高齢者の割合は7割を超えていると言われてますが、この地域の**まだまだ元気な高齢者たちの潜在的な労働力をこの様な新しい働き方で活躍して欲しい**と考えています。こんな思いから発足させたのが「労働者協同組合 労協うえだ」です。

私たちは、これまでの人生で得た経験や資格・趣味を活かした様々な働き方を組織化し提案して行きます。**経験豊富な高齢者たちが楽しく生き生きと働きながら自らの存在感が地域で感じられる様なそんな**生き方提案です。この活動は地域社会への貢献と地域活性化の原動力になるものと確信しています。

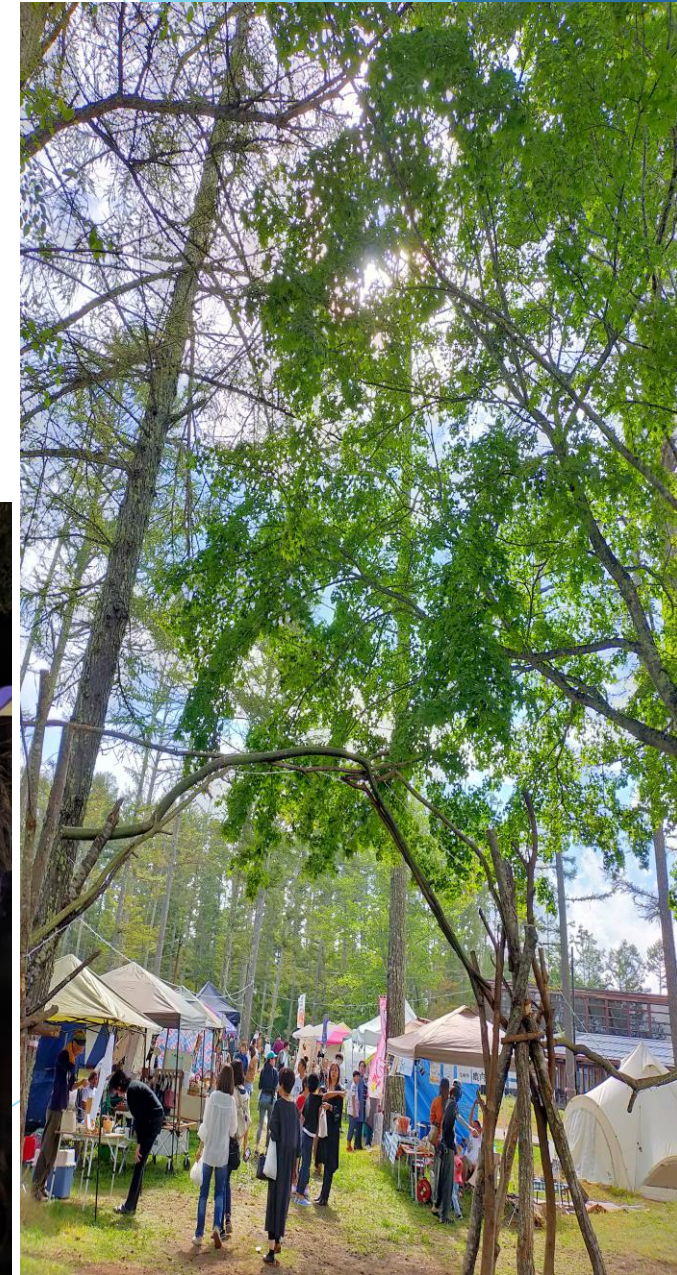
**人生100年時代に相応しい地域社会の再構築です。**



# 音楽フェスで地域活性化！ Koshikake Events 労働者協同組合

飯綱高原で「こしかけカフェ」を運営する真田さん夫妻が中心になって2023年7月1日に設立総会を開催。15人の組合員が出資をし、8月に登記完了した長野県で3番目の労働者協同組合です。過疎化する茅井地区の地域活性化へ向けた全国初のイベント型のワーカーズコープです。イベントを通じて関係人口や移住者を増やし、地域の人の仕事おこしを通じて、持続可能で活力ある地域社会に資するのが目的です。

2023年9月29日～10月1日にMori no Koshikake! MUSIC & ART FESTIVALを飯綱高原で開催！ 約2千人が参加 Oinstagram: mori\_no\_koshikake



# 長野県高齢者生活協同組合（組合員4126人、就労251人） NPO法人ワーカーズコープかがやき（95人就労）

## 仕事起こし

- 元気な高齢者が高齢者を支える♥
- 生活総合支援活動（困りごと解決）
- ビルメンテ・空き家管理



## 生きがい

- カフェ・サロン活動
- 趣味や健康づくりサークル
- 老人福祉センター等の
- フードドライブ
- 協同畑（生活困窮者支援）



## 福祉

- 在宅福祉サービス
- 365日の配食サービス
- 老人福祉センター等の運営・管理（長野市）
- 失業者の為の職業訓練



【長野高齢者生協】  
1996年3月 長野県  
高齢者協同組合(任  
意団体)設立・・・介護  
保険参入に備え、各  
地でヘルパー講座等  
を開催。

1999年6月 福祉の  
生協として、長野県  
高齢者生活協同組合  
に。

【NPOかがやき】  
2004年6月「ワー  
カーズコープ高齢協  
ながの」発足  
2006年9月 NPO法  
人取得、名称を  
「NPO法人ワーカー  
ズコープかがやき」  
に。

# ソーシャルファームなかがわ (2019年5月設立、8月一般社団法人登記)

長野県中川村（人口4800人）に移住したワーカーズコープの若者が、地域の暮らしの中で、さまざまな人と出会う中で、障害のある人や生きづらさを抱えている人の暮らしや仕事を支える場がないということを知る。

地域の方々と2016年から学習会を重ね「ソーシャルファームなかがわ」を設立（ソーシャルファームとは、自立的に経済活動を行いながら、障害や困難を抱える人と共に働く社会的企業）。

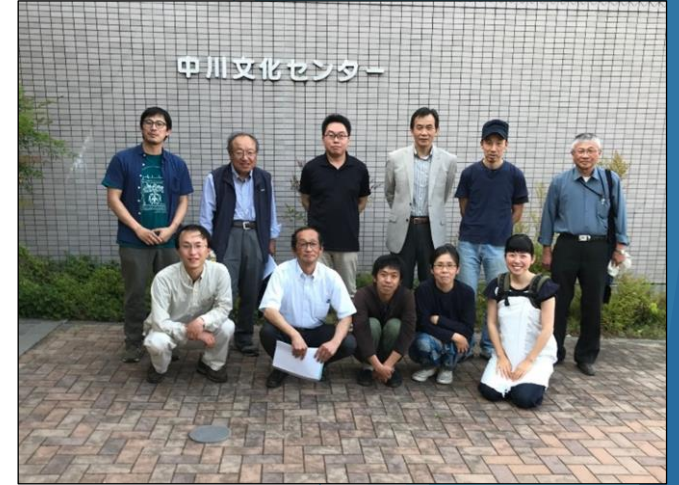
4年間続けてきた話し合い、学び合い、出会い



2019年12月 小規模ケア施設整備事業

2020年4月 広場管理に関する委託業務開始／ソーシャルホーム開所（共生住宅）－個人事業の引継ぎ

2021年4月 地域活動支援センター運営開始



障害や生きづらさがあっても、誰もが安心して生き、自分らしく暮らし、働くことができる地域を協同してつくることを目的とする。基本的人権と生命を最高の価値とし、自然との協奏を目指す。地域に必要な仕事や暮らしを地域住民自身が創り出す「地域協同組合」及び「**労働者協同組合**」を目指したい（設立文書）。

# すべての人に「安心安全の居場所」と「出番と役割」を NPO法人ライフワークレインボー

この地域で生きることを決めた子どもたちが、地域と関わりながら楽しんで生きていけるように法人を設立。長野県信濃町で障がいや働きづらさを抱えた若者と親が共に、ナチュラルハウスクリーニングや薬草の栽培などに取り組み、学校に通えない子どものために飯綱町の廃校を活用したフリースクール「OZ Field」と放課後等デイサービスを開所。



<https://lfw-rainbow.com/>



# 全国のワーカースコープの実践事例

## 労働者協同組合・センター事業団（北海道札幌市） 「篠路まちづくりテラス和気藍々」



札幌市「篠路コミュニティセンター」（指定管理者施設）で就労する組合員が地域と協力して駅前の再開発をめぐるアンケートや街歩きなどを実施、「気軽に集える場所がほしい」との声を踏まえて、2017年に商店のない地域に立ち上げたコミュニティカフェ。地元の製粉工場の粉を使った手打ちうどんやスイーツなどを提供。2021年7月より、浦河べてるの家の皆さんと連携し、当事者研究を実施。

2018年から、札幌市の独自制度「障がい者協働事業所」に選定され事業開始。障害のある人が8人、障害のない人も14人全員が出資して、ワーカーズコープの組合員となり、話し合いを重ねながら運営。

「精神疾患とともに生きる会」「統合失調症を語る会」「うっせいくソババア思春期の会」「子どもの発達に不安のあるOK親の会」「絶滅危惧種専業主婦の会」など、組合員が障害も困りごとも地域に発信して、ともに語り合うイベントを毎日開催。

# 労働者協同組合・センター事業団（北海道釧路市） 釧路地域福祉事業所の当時者主体の取り組み



コロナ禍で、デイサービスの利用者が利用日以外の日ボランティアとして、就労継続支援B型の利用者と一緒に参加してつくった「見守り宅配弁当」（1食300円）を、就労B型の利用者と組合員が地域の高齢者に配布。



地域若者サポートステーション、デイサービス、就労継続支援B型、釧路市立総合病院院内保育所などの事業を運営。地域でみんなの食堂とおばあ食堂（デイの利用者が月1回）、フードバンクなどの活動に取り組んでいる。





# 労働者協同組合・センター事業団（埼玉県ふじみ野市） ふじみ野地域福祉事業所「デイサービスそらまめ」



原発事故避難者を支援してきた中の6人の女性たちが、2012年4月に立ち上げた地域福祉事業所。2020年3月、埼玉県とNPO法人埼玉自然エネルギー協会、そして地域の募金によりデイサービスの屋根に太陽光発電パネルを設置。

被災地福島から避難して来られた方々から「息が詰まりそう...畑がしたい」という切実な想いに応え、地域の農家の協力を得て、農作業を開始。利用者と地域の人と共に土に触れ、作物を育て、収穫、料理して一緒に食事。食料自給率70%（肉、魚はパルシステム）。F（食）E（エネルギー）C（ケア）自給コミュニティづくりをめざしている。



# 労働者協同組合・センター事業団（東京都豊島区） としま宙事業所の「居場所づくり」

豊島区から委託された「豊島区子ども若者総合相談アシストとしま」（2018年7月～）、東池袋フレイル対策センター「いーとこ」（2019年4月～）を運営。

コロナ禍で休館となり、全利用者に状況確認の電話連絡（若者、高齢者200人）、利用者へのお便り配布、声が寄せられた。「大学に入学したが誰にも会えない」「就職活動が不安」「一人暮らしなので声を出す機会がなくなった」「やる気が起きず食欲がない」「杖を使うようになった」。

再開後は、地域懇談会を開催し、お互いの連絡が取り合えるSNSを活用した講座や「ポールdeウォーク」、つながりをつくる居場所（サードプレイス）としての「もちこみごはん」などに取り組んでいる。



誰かにごはん食べませんか？

## もちこみ ごはん。

7月3日

「一人で飯食べたくない」「まっすぐ帰るのがさみしい」  
金曜日の夜、みんなでごはんを食べましょう。

食事は完全持ち込み（お湯提供可）  
第1金曜日 18:00～20:00  
（参加自由・申込不要・途中入場退場OK）

場所 豊島区南池袋4-10-5  
**こみっとプレイス** 都電雑司ヶ谷駅 徒歩2分のカフェです  
場所代100円お願ひします

特定非営利活動法人ワーカーズコープ としま宙事業所

【問い合わせ】 ☎03-5937-2632 メール a-hanbegawa@roukyou.gr.jp ワーカーズコープ東京中央事業本部 神戸川まで

# 労働者協同組合・センター事業団（東京都豊島区） 地域共生型就労拠点こみっとプレイス

ワーカーズコープが運営する世田谷若者サポートステーションの利用者が主体となって2018年に立ち上げ（現在、就労継続支援B型を運営）。

手芸や囲碁、将棋などのサロン、カフェを運営、地域のつながりをつくる拠点。障害のある仲間と一緒に就労している「サービス上では、利用者と職員ですが、私たちはともに働く仲間だと思っています。一緒にこみっとプレイスを運営していきませんか」と利用者に働きかけ。スタッフ会議とは別に、利用者が参加する「運営会議」を開催。「運営会議で出した意見をみんなで形にしよう」と、自分たちがやりたいことを出し合い、新たなメニュー開発などを実現、さまざまな活動を創り出している。



新規開発メニュー

豊島区との連携  
区民ひろば共生サロン事業 2023年1月～  
区民ひろば高松「区民ひろば椎名町」内カフェ運用  
日曜教室つばさCLUB 次年度6月～

## 労働者協同組合・センター事業団（東京都立川市）

### きらっと地域福祉事業所

東京都立川市、2012年市役所をリノベーションして新設された「子ども未来センター」。ワーカーズコープは開設初年度より3事業を指定管理者として運営して8年目。

組合員は14人。年代は30～70代と幅広く全員女性。離職率が低く、「楽しさを共有しよう」という空気がある。専門性の研修以外に、業務以外での共有時間を大事に。また、頻繁に「話し合い」をする。

陰口や意地悪は「もやもやとした不安」が原因のことが多く、仲間で話し合いを繰り返し、疑問や不安、不満を解く努力を尽くす。現場で働いている仲間の多くが子育て進行中。急な家庭の用事で誰かが休まないといけないとき、LINEグループで共有すると「それなら私、今日出ます」とスムーズに代替わりの人が決まる。「この職場にいる時間が楽しい」という人たちがいて、シフトを埋めてくれる。「この職場にいる時間」が幸せなものであってほしい。そんな働き方がワーカーズコープでできる。



# 労働者協同組合・センター事業団（東京都豊島区） 豊島地域福祉事業所自立支援センターまめの樹



2004年、中野養護学校（当時）からの要請に応じて、清掃事業所の組合員が、生徒と保護者、教員が受講するヘルパー3級講座を学校で開講。卒後の働く場所を模索するなかで東京都の職業訓練講座や居場所づくりに

取り組み、自立支援センターまめの樹を2007年立ち上げ、豊島区内の公園清掃（16カ所）、清掃用具などの受発注、製造・加工。2010年カフェまめの樹を立ち上げ、子ども食堂や埼玉県川越で畑仕事も。障害のある人もない人も対等の関係で話し合っている。今後、グループホーム立ち上げに向かう準備を開始。

## 清掃道具の受発注、製造・加工

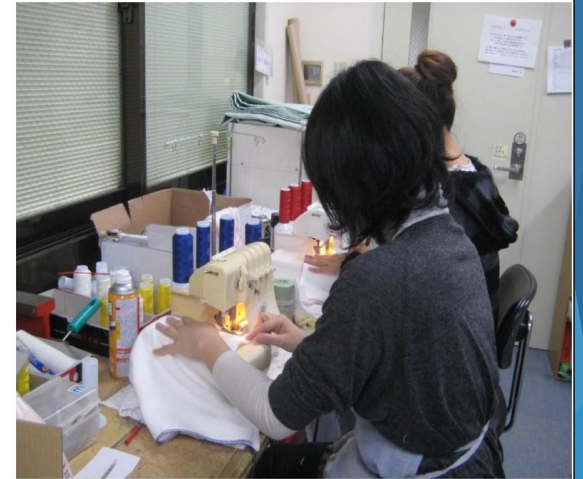
要町事務所

ワーカーズコープの  
全国の清掃現場から  
清掃資材を受注

清掃資材の梱包・発送

クリーンキラエース  
次亜塩素酸水溶液）  
の製造販売

清掃道具の製造、加工



# 労働者協同組合・センター事業団（東京都板橋区） 板橋小豆沢事業所（東京都ソーシャルファーム条例の認証事業所）

小豆沢病院の清掃業務を中心に洗濯や診療所・歯科・薬局の日常清掃・定期清掃を1985年より受託。

若者サポートステーション、支援機関からの紹介で生活保護受給者、生活困窮者、ひとり親世帯、精神障がい者、知的障がい者、ひきこもり、高齢者を含む15人の仲間が就労（内3人が認証の対象者（雇用支援計画書を作成した方））。誰もが話しやすい会議運営を行う中で、地域向けのバザーを開催（昨年度より2回開催）。日頃、おとなしい方や対人が苦手なメンバーも積極的にチラシを地域の人に配布。病院清掃が基盤にあることと、多くの就労困難者を受け入れてきた実績が認められて「予備認証」から「認証」に。

困難にある人の就労の場を広げていくために、ハウスクリーニング、定期清掃の仕事を広げ、地域の“困った”に応えられる事業所をめざしている。



# 労働者協同組合による社会連帯活動「みんなのおうち おとなりさん」 「ワーカーズコープちば」のフードバンク、制服バンク



2017年4月には制服バンクにも取り組み、障害のある人が働く事業所でクリーニングしてもらい、安価（一着3千円）で販売。



2012年にフードバンクを設立。社協など多様な団体から食品を提供してもらい、困窮者支援。コロナ禍で月200件に。台風被害による食糧支援も。2020年9月には、千葉銀行とちばぎん証券、県社会福祉協議会と食品提供等に関する包括連携協定を締結。



## “農福連携” – 困難や障害のある仲間と共に働く（神奈川県小田原市）

ワーカーズコープでは、2014年より（株）報徳農場と連携して小田原足柄地域福祉事業所を立ち上げ。農業生産と販売を行う「報徳ワーカーズ」、生活困窮者等の農業訓練・社会参加促進支援事業、被保護者就労継続支援の「ワーカーズコープ笑天」、居住支援の3部門を実施（事業規模高2000万円、組合員7人、有償ボランティア5人、利用者7人：内2人が中間的就労、20～60代）。学校給食にも提供。近隣の特別支援学校の生徒、ひきこもりや就労に困難を抱える若者たちと農業体験も実施。「農業への従事が目的ではなく、農業体験を一つの社会体験の資源として活用してもらえればと思っている。以前は一対一で支援員が利用者に向き合っていたが、現在は支援員と利用者皆がごちゃ混ぜで取り組んでいる」。



「作業に慣れてくる中で、利用者同士で仲良くなったり、話ができるようになった」「何かに追われるような精神状態が続いていたが、笑天にきて解放感が持てるようになった」  
「目の前の作業に集中したり、何気ない会話が行えるようになった。それは農業ならではないかと思う。最終的には、就労できるようになれば」など利用者から。



# 大阪西成区の野宿者支援団体NPO法人釜ヶ崎支援機構との連携 新たなワーカーズコープの事業所を立ち上げ

釜ヶ崎支援機構（野宿者に対する生活・就労支援団体）からワーカーズコープ立ち上げに対する相談・要請を受け、2018年4月より、ワーカーズコープから組合員1人が支援機構に出向。

共同して開催してきた「いきいき清掃講座」は年間3回開催し、14クール目を迎え、延べ100人が受講（うち終了90人）。職場体験講習の受け入れをワーカーズコープの病院清掃現場で受け入れ、就労に（6人就労（現在は2人）、就労継続支援B型に1人）。

2021年3月に大阪西成区に大阪中央事業所「就労継続支援B型事業所おあしす」、社会連帯ワーカーズ「ひよんの実倶楽部」（コーヒー焙煎と販売）を立ち上げ。

西成特区構想（あいりん総合センター跡地活用など）への参加を視野に入れて、釜ヶ崎支援機構との連携も新たな段階に。西成区で清掃のワーカーズコープの立ち上げを展望中。



## 労働者協同組合の事例（兵庫県尼崎市）

### はんしんワーカーズコープの商店街との連携

2014年に緑化事業・介護を中心に立上げた、はんしんワーカーズコープ。阪神尼崎の三和商店街の中に事務所を構え、地域共創Lab.を開設。地域の子どもたちとゴミ拾いや、障害のある児童の居場所づくりなどの商店街活性化、生活困窮者の就労支援－就労準備支援、認定就労訓練事業（尼崎市より広報の公共施設への配布など）などに取り組んでいる。4月より、尼崎市より「就労的活動支援コーディネーター」（厚労省：地域支援事業）を活用した「高齢者生きがい就労事業」を開始する。



## 労働者協同組合・センター事業団（兵庫県豊岡市） 但馬地域福祉事業所 Next Green但馬

2009年の若者サポートステーションの運営からスタート。公共職業訓練（自然エネルギーコース）を開講し、受講したメンバーが中心となって、小規模林業（自伐型林業）チームNext Green 但馬を2013年に立ち上げ。派遣労働や非正規労働を経験した若者、都会から田舎暮らしを希望しIターンを利用して来た者、若者サポートステーションの利用者だった人。そして、小さな子どもを抱えながらも林業の仕事に燃える女性を含めた若者たち5人が参加。

バイオディーゼル燃料製造や養蜂など山の百業を実践。子ども向けの木工品づくりや、竹を使った子どもの遊び場づくり。2022年4月には環境省里山未来拠点形成支援事業に採択され「森のようちえん」を立ち上げ。



## 労働者協同組合・センター事業団（福岡県春日市） 春日地域福祉事業所みんなのおうち「ひまわり」



春日事業所では児童センター3館（指定管理者）を運営し、「飛び出せ！！児童センター」として、ひまわりの応援でフードバンクの食材でカレーを作ってキッチンカーで「テイクアウト食堂」を1月から開始。市内5か所の公民館で一回当たり30食以内限定、独居老人宅に自治会の方と一緒に届けている。

2012年に中・高生の居場所として立ち上げた地域福祉事業所ひまわり（放課後等デイ、日中一時生活支援など）は地域の様々な困難（不登校、障がい、ひきこもりなど）を抱える人々の拠り所として活動。コロナ禍で障害のある児童や居場所を拠り所としている若者たちにとっては、ひまわりが果たす役割では限界に。就労支援B型事業所を立ち上げ、地域につなぐ就労の場づくりに向かう。



# 幸福学におけるwell-beingとは

身体的、精神的、社会的に良好で満たされ、健やかな状態の持続である。

前野隆司（慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

北アルプスと千曲川、善光寺平を望む 22.12.3撮影

## 幸せの4つの因子とは？

### 個人の在り方

### 関係性の質

因子1

やってみよう

夢・目標、強み、成長、  
自己肯定感

因子3

なんとかなる

前向き、楽観性、自己受容

因子4

ありのままに

独立、自分らしさ

因子2

ありがとう

感謝、利他、許容、承認、  
信頼、尊敬、自己有用感



協同労働×幸せな職場＝持続可能な地域づくりへ！

1人1人が互いを信頼し合い、力を合わせ、やりたいことをイキイキ・ワクワクと実行しよう！！  
また、見ぬ頂きを仲間と共に目指そう！！

北アルプス白馬岳山頂付近から劔岳を望む 2,932m